

# 病院1回で3、4万円

## 在日クルドの子ら苦しみ訴え

共産党議員と懇談

日本共産党の「外国人の人权が働く共生に関する委員会」(責任者・仁比聰平参院議員)は26日(埼玉県内)クルド人コミュニティを訪ね、在留資格のない子どもや家族、支

援者が懇談しました。仁比氏は、本村伸子、堀川鉄也両衆院議員、梅村さとこ元衆院議員

らが参加しました。クルド人の子どもたちは、入管施設への收容を一時的に解かれる

医療費がかかることや、高校授業料無償化の対象にならないこと

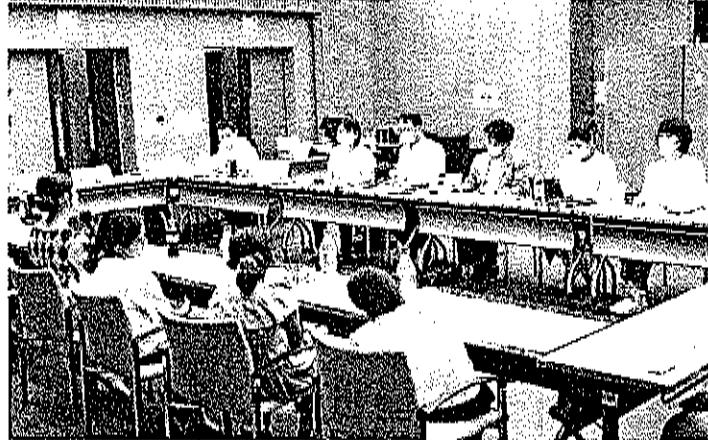
と、住んでいた埼玉県から出るには立ち入り入管の許可がいる話

を語りました。

中学生の女子は「病院に1回行くだけでも、4万円払う」と話しました。中2の男子は「サッカーボールやマラソンなど試合があるのに、埼玉から田のへりにかかるから行けない」と訴えました。

「留学したい。でも假放免のままだと夢がかなわない」(中2女子)など将来への不安も語られました。

仁比氏は、「医療や教育など生きていって必要なサービスは「最低限のベースだ」と述べたうえで、「みんなが夢を追いかけられる社会にしていくために



クルド人の子どもたちと懇談する(右から)梅村、本村、仁比、堀川の各氏ら=26日、埼玉県川口市

「留学したい。でも假放免のままだと夢がかなわない」(中2女子)など将来への不安も語られました。仁比氏は、「医療や教育など生きていって必要なサービスは「最低限のベースだ」と述べたうえで、「みんなが夢を追いかけられる社会にしていくために

在日クルドとの交

話していくことを紹

介。地域の人などいろいろな人がコミュニケー

ションをするなかで、

本講教室のボランティ

アに参加するなかで、

「一人の人間として

頑張りたい」と表明し

ました。(外國人に)接すること

に17年間暮らす女性

(35)とその家族が、

假放免生徒の不自由を

は大切だと思った」と

強調されていました。

在日クルド人の交

話していくことを紹

介。地域の人などいろいろな人がコミュニケー

ションをするなかで、

女性は、クルド料理の教室などが文化活動を

理解を深めていくつほ

しい」と述べました。

家庭訪問では、日本

がなく場所を借りられ

ない」と述べ、日本人と一緒に活動したり話

したりする場がほしい

と話しました。